

## 授業計画（応募者向け）

### 2015 年度冬学期スタディツアー「フランスのムスリム移民社会を学ぶ」

#### I. 概要

目的： 現代フランスのムスリム移民をめぐるコンフリクトについて学ぶ。

概要： フランスのパリ、リール、マルセイユ、リヨンにて、移民集住地区、ムスリムのコミュニティ運動やモスク、移民やレイシズムについて研究する教育機関、などを訪問する。移民人口分布の踏査、当事者・関係者への聞き取りといったフィールドワークに加えて、現地学生とのワークショップ、移民家庭への訪問も計画に含まれる。

本プログラムは例年、明治学院大学国際学部の浪岡新太郎先生により、校外学習として実施されている。今回は、浪岡先生のご厚意により、明治学院大の学生にくわえて、本学学生も同行させていただく形となる。

担当教員： 柏崎正憲

プログラム： A. 予習ゼミ： 11月～1月の水曜5限に3～5回  
B. 明治学院大との合同ゼミ： 11/8（日）、12/13（日）、1/9（土）  
C. 合同合宿： 1/29（金）～30（土）、1泊2日、横浜・関内  
D. スタディツアー： 2/10（水）～24（水）

参加費： 大学から支給、ただし現地滞在費は一部のみ自己負担（5万円程度）。

#### II. 応募の条件と方法

対象： すべての学部生。ただし3月卒業予定者は、卒業必要単位としては、同授業を使えない（成績処理が間に合わないため）。

条件： 1. 上記のプログラム日程（とくにB～D）に参加可能である者。  
2. 半日以上の徒歩に耐えられる者（スタディツアー中は徒歩による長時間の調査が含まれるため）。  
3. ご協力いただく個人や団体への礼儀をわきまえ、またプログラムにともなう調査・発表の分担や団体行動に責任をもって取り組めると認めうる者。

※ 必須ではないが、フランス語またはアラビア語を話せる学生は、選抜で優遇する。スタディツアー中の通訳は、基本的には学生同士でおこなうが、必要な場合には教員が補う。

※ スタディツアー中に計画されている現地学生との交流の場では、明治学院大および本学の学生に、仏語または英語による研究発表をしてもらう予定。

応募方法： 応募・問合せ先は [kashiwazaki@tufs.ac.jp](mailto:kashiwazaki@tufs.ac.jp) (担当教員・柏崎)。

1. 予備エントリー： A. 名前、B. 学年・学部・地域言語・所属ゼミ (あれば)、C. 電話番号、D. メールアドレス、E. 10月20日 (火) の空いている時間帯を、 柏崎にEメールで送信。**10月9日 (金) まで** (期日を過ぎても可)。
2. 本エントリー： 以下を柏崎にEメール送信。A. 名前、B. 使用できる言語とそのレベル (公的試験の点数など客観的評価がある場合は併記)、C. 志望動機 (400～1,200字程度)。 **10月19日 (月) a.m. 9:00 まで** (期日厳守)。
3. 面接： **10月20日 (火)** に、本エントリー応募者全員を対象に、面接を実施。選考結果は10月23日 (金) に本人にEメールで通知。23日 (金) ～26日 (月) のあいだに履修登録。

### Ⅲ. スタディツアー計画

※ 日程・内容に変更の可能性あり

1日目 2月10日	成田空港集合、移動 (成田～パリ)
2日目 2月11日	パリ市内見学、移民博物館訪問
3日目 2月12日	国立パリモスク見学、移動 (パリ～リール)
4日目 2月13日	リール市内見学
5日目 2月14日	移動 (リール～エクサンプロヴァンス) エクス市内見学
6日目 2月15日	エクス政治学院訪問 マルセイユ移民街見学
7日目 2月16日	移動 (エクス～リヨン) リヨン市内見学
8日目 2月17日	リヨン・カトリック大学訪問
9日目 2月18日	リヨン市内見学 (モスク訪問、現地団体の活動の見学、等)
10日目 2月19日	
11日目 2月20日	
12日目 2月21日	
13日目 2月22日	
14日目 2月23日	移動 (リヨン～パリ、パリ～成田)
15日目 2月24日	翌日に成田到着、解散

柏崎正憲 東京外国語大学・世界言語社会教育センター  
[kashiwazaki@tufs.ac.jp](mailto:kashiwazaki@tufs.ac.jp) 042-330-5471 (直通)